

事務事業名 二日市温泉活性化事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1638

施策：	13 観光の振興	財務コード	01060103-12-398
基本事業：	01 観光資源の発掘と活用	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	温泉利用客数 市祭等のイベントにおける物産品売上額	担当課	商工観光課
		担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民、市外住民		市内外で開催される祭り等のイベントにて、来場者に二日市温泉（御前湯・博多湯）の入浴割引券をし、二日市温泉をアピールする。 【割引額】181,220円 大人：200円×900人 御前湯(小人)：130円×4人 博多湯(小人)：100円×7人				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【割引券印刷代】77,000円（5,000枚配布）				
筑紫野市の観光に欠かせない二日市温泉が広く知られ、駅やインターが近い交通の利便性を生かし、多くの観光客が訪れることで、市の観光全体の活性化につなげたい。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
二日市温泉の入湯客数	人	314,403	274,651	320,000	320,000			400,000
	人	87	911					

5. コスト								
事業費	計	千円	29	259	182	182		
	国	千円			0	0		
	県	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円			0	0		
	一般	千円	29	259	182	182		
正職員人工数	人工	0.1	0.2	0.2				
正職員人件費	千円	782	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	811	1,864	1,858	182			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	御前湯の入浴割引券を配布し、二日市温泉をアピールする目的で予算計上している。令和6年度からは、博多湯でも入浴割引券を配布した。							
どちらかといえばあがっている	令和6年10月に、御前湯等が利用している二日市温泉事業協同組合管理の温泉タンクが破損し、温泉タンクを利用している施設が令和7年4月末まで利用不可となっていたため、入湯客数が減少している。(R6から年度で算出)							
あがっていない(停滞・低下)	【二日市温泉入湯客数】 H30:363,597人、R1:351,708人、R2:211,857人、R3:216,882人、R4:287,247人、R5:314,403人、R6度:274,651人							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	観光資源を活用し誘客を図る取り組みが必要である。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
入浴割引券は御前湯や博多湯での利用に限らず、今後は他の二日市温泉施設でも利用できるとともに、市内外の様々なイベントの際にを配布することで、引き続き二日市温泉のアピールを続けていきたい。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
二日市温泉の活性化を図る。観光客の誘致。				【入浴割引券配布状況】 ・R4：筑紫野もみじ祭及び同祭イベント 利用者102名 ・R5：筑紫野もみじ祭及び同祭イベント 利用者87名 ・R6：市内外の祭りなど各種イベント 利用者911名				